



ふじさんネットワーク

FUJISAN
NETWORK

URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

VOL.17



富士山憲章(行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

目次

Contents

- 特集** “富士山勉強会”
“企画部会の報告”
- TOPIX** “富士山に寄せる想い”
“富士山に関するQ&A”
- 活動報告** “富士山エコレンジャー活動”
○富士山3776自然林復元下刈大作戦
参加者募集
○1年間の活動総括
- 事務局通信**



特集

“富士山勉強会”

ふじさんネットワークでは、平成17年1月22日(土)午後1時30分から三島市民文化会館大会議室で、『富士山勉強会』を実施しました。富士山の環境保全活動への関心は高く、多くの方々に御出席頂き満席となりました。今後もこのような勉強会を続けて行きたいと考えておりますので、御協力をお願いいたします。



○『富士山の気象』

東京管区気象台 富士山測候所 技術課長 稲葉 和弘

気象観測と情報通信の技術進歩により、近年では台風等の天候の影響で多くの方が亡くなることは減ってきた。これは、富士山頂に設置した気象レーダーによる影響が大きい。また、観測技術の進歩により気象学が発展し、原理の理解と全体像を把握することの重要性が高まった。富士山とその他の地域では、気象条件が全く異なり、特に10月から2月頃は15m/secの強風が毎日のように吹いている。また、山頂では1981年2月に-38.0℃の最低気温を記録した。現在では、予報精度が向上し豊富な情報を迅速に提供できるようになったので、気象庁のHPも活用して頂きたい。



○『富士山の登山事故事例と安全な登山』

静岡県警察本部地域課 企画第一係長 (静岡県山岳遭難救助隊長) 眞田 喜義

富士山では、毎年落石や転倒、道迷い等さまざまな事故が起きている。近年唯一の死亡事故事例は落雷によるものだが、雷鳴が聞こえたら、山小屋に留まるか、姿勢を低くして待つしかない。特に八合目以上では、上からではなく横から雷に打たれる。また、高山病を防ぐためには、駐車場に着いた後すぐに動き出さずに、1時間ぐらい身体を慣らしてから動き出したほうが良い。高山病の症状は頭痛・吐き気・眠気などがあり、過呼吸の症状と似ている。過呼吸の場合は口元にビニール袋を当てて呼吸させると良い。



○『富士山を守る法律～自然公園法～』

静岡県 環境森林部 自然保護室 自然公園係 主事 小杉 郁奈

自然公園法は、わが国の国土が狭く、多様な土地利用がされているため、国民の生活や産業と共存しつつ自然景観の保護を図ることを目的に制定された。富士山では、概ね五合目以上が特別保護地区に指定され、厳しい規制がされている。標高が下がるにつれて、徐々に規制は緩やかになってくるが、概ね1,600m以上は、フジアザミやイタドリ等の貴重な植物に影響を与えないようにオフロード車乗り入れ規制区域となっている。



※当初講演を予定していた『富士山の美術』は、講師急病により中止となったため、『東海道五十三次』のビデオ上映を行いました。

“企画部会の報告”

富士山憲章制定10周年に向けて、環境保全活動を推進するため、ゴミ・水・森・観光の各分野での具体的な取組内容を話し合いました。ふじさんネットワークとして、できることから始めていきたいと考えています。



節水目標の11%を達成する

現在、富士山周辺の市町村では、全国平均を上回る量の水を使用しています。そこで、全国平均レベルへ落とすために節水目標を11%とし、企業や家庭での節水を進めます。広報活動を通じて、節水を呼び掛けるとともに、企業の節水への取組についてホームページを通じて紹介をしていきます。

また、富士山周辺地域は湧水に恵まれています。家庭での污水対策は、まだまだ遅れ気味です。そこで、企業だけではなく家庭での污水対策のPRを進めます。

ゴミサイトマップの作成

富士山五合目以下のゴミの状況を把握し、不法投棄をなくすため、ゴミの位置を地図上に記した「富士山ごみマップ」をホームページ上に設けます。ふじさんネットワーク会員の方から事務局へ情報を送っていただき、写真などにより現状をお伝えします。その後、清掃活動等でゴミがなくなった状態を掲載することにより、捨てにくい環境を作ると共に、ボランティアによる監視を強化し不法投棄の抑止を図ります。

マナー看板の設置

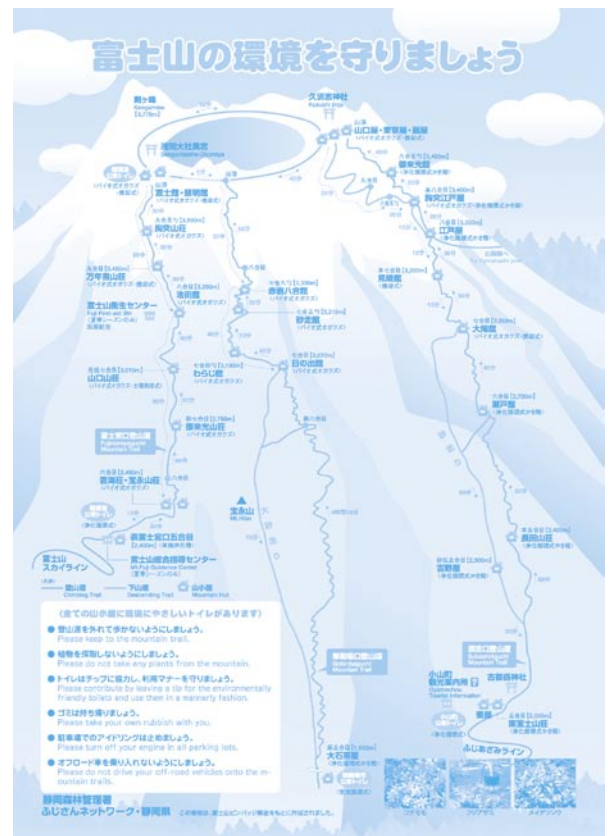
近年、登山道でゴミを見かけることは、少なくなってきましたが、まだまだ当たり前の登山マナーを守れない来訪者もいます。そこで、登山道を示した地図と共に、登山マナーを記載した看板を登山口等に設置し、県内外からの来訪者へ環境保全の啓発を行います。また、平成17年度で全ての山小屋に環境にやさしいトイレの設置が完了するため、トイレチップへの協力を呼びかけます。

富士山の環境保全活動は、ふじさんネットワーク会員をはじめ、国民のみなさまの協力が不可欠です。富士山周辺に生息する動物・鳥・昆虫・植物等の自然を守り育む環境づくりに今後も御理解・御協力をお願い致します。



ニホンジカ(富士山麓にて)

富士山マナー看板デザイン





トピックス

“富士山に寄せる想い”

現在、富士山に関わる研究をされたり、自然保護活動をされている、ふじさんネットワーク会員の方々に、富士山への想いを寄せて頂きました。富士山の見える地域にこどもの頃から住んでいる方にとっては「いつもそばにいる」ものであり、遠方から訪れた方にとっては、初めて見た時の感動があると思います。富士山から環境保全活動の裾野を広げていきたいと考えています。

質問事項は下記のとおりです。

- ① 今まで見た富士山の中で一番きれいだったのは、どこで見たものですか。また、その時の感想は？
- ② 富士山と関わることとなったきっかけは何ですか？
- ③ 富士山への想い(メッセージ)

○土 隆一 ふじさんネットワーク会長(静岡大学名誉教授)

- ① 東京大学の4年生になった時、卒業研究で“相良・掛川地域の地質学的研究”をすることになり、静岡に来て御前崎から海の向こうにそびえる富士山を眺め、こんなに美しかったのかと、これからはいつも富士山を眺めながら研究を続けるのだらうという想いは今でも残っている。
- ② 三島楽寿園小浜池の湧水が減少し、何とか復元しようと、富士山の湧水の研究を本格的に始めることになった。
- ③ 日本にも〇〇富士は多く、世界にも同じような円錐形の火山はあるが、富士山のように東西南北のどこから眺めても同じように美しい姿を見せる山は殆どない。このように、富士山が周囲のすべての人々に与える豊かな公平性には、強く惹かれるものがある。



三島楽寿園

○漆畑 信昭 財団法人柿田川みどりのトラスト 会長

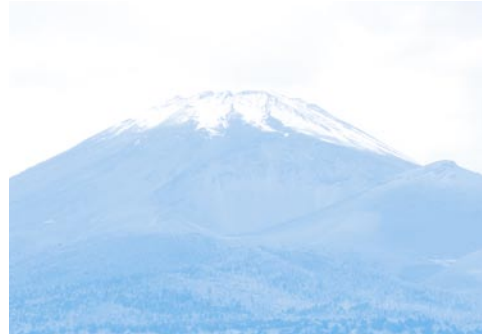
- ① 富士山はどこから見ても、周囲の風景に溶け込みすばらしい。しかし私は初夏の頃、箱根中腹にある山中城址から見た富士山が、頂上の形、全体のバランスが良く、強く印象に残っている。
- ② 柿田川の保護運動を始めてから、その水源涵養地は富士山と知り、サファリパーク反対運動以降、富士山の環境保全活動に関わっている。
- ③ 富士山は日本人の心のふるさと。またすばらしい造水器でもある。しかし、近年荒廃が目立ち、心を痛めている。利用するだけでなく、もっとやさしく労わってやりたいものだ。私はトイレ問題が気になり、まだ富士登山(頂上まで)したことがない。恐らく、永遠にないだろう。ただ、遠影を朝夕眺めて、心の安らぎにしている。



柿田川

○桑田 泰久 富士山ナショナル・トラスト会長

- ①夜明け前、八合目付近で見た富士山の稜線が朝日に映えて刻々と金色に輝く様が美しかった。そのスロープが、伊豆の先端は勿論、茨城から長野などの山中で遠望できた時の感動も大きい。
- ②外地より引揚げた直後の列車の車窓から、生まれて初めて富士山を見て、日本への帰国を実感した印象が大きかった。
- ③少年時代の印象は、理屈抜きで富士山信仰の気持ちを定着させる。子供等も、湖や登山で富士山と共に育て、今やそれぞれ独立して出たあとも、年に何回かは我が家に戻って、孫等と共に富士山を楽しんでいる。そんな富士山を『いつまでも…』と願いつつ。



富士山(御殿場口)

“富士山に関するQ&A”

富士山に関する素朴な疑問について、ふじさんネットワーク会長（静岡大学名誉教授）土隆一先生にお答え頂きました。

富士山についての疑問・質問や取り上げてほしい話題等がありましたら、事務局までお寄せ下さい。情報誌やホームページ等を通じて可能な限りお答えしていきます。

Q1 富士山の石はなぜゴツゴツしていて、穴がたくさん空いているのですか？

富士山は黒っぽい色をした玄武岩の溶岩や火山砂礫からできています。地下のマグマの中には水蒸気ガスが沢山含まれていますが、噴火と共に気泡となって発散するので、その跡が穴として表面に残るのです。溶岩の表面はゴツゴツしていて小さな穴が沢山空いていますが、溶岩層の中心部になるとち密な部分も見ることができます。

Q2 富士山周辺でも有名な湧水がたくさんありますが、なぜ溢れないのですか？

湧水は降雨・融雪で若干増えたりしますが、川のように大きく増えたり枯れたりしないのが特色なのです。それは高さによる水圧で水路の端から噴き出しているからです。柿田川や湧玉池の底から水玉が吹き出すように湧いているのが見られます。岩の間の水路はホースのような簡単な形ではありません。だから、水源の水が2倍の量になっても、湧き出す水は勢いよく多くはなりませんが2倍の高さと量まではなかなかならないのです。

Q3 富士山周辺には、なぜ温泉が少ないのですか？

古い火山には沢山の温泉があります。しかし、富士山はまだ誕生してから10万年にしかならない若い火山なので谷や川もまだ充分できていません。降雨や雪は地下にしみ込みますが、その大部分は表面近くの溶岩の間を通過して麓へ湧き出すと思われまます。そのため、地下に熱はあっても水が充分にあると思えないのです。



活動報告

“富士山エコレンジャー”

項目	現在の状況	よりよくするための方法	対応
登山道等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・登山道とブルドーザー道との区別がはっきりしない箇所がある。 ・ハイキングコース（遊歩道）の標識の破損、道の荒廃が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登山者が入り込み危険なため、判別しにくい箇所は登山道側の管理をはっきりとする。 ・来訪者の安全のために、開山までに整備が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ★静岡県土木部 <ul style="list-style-type: none"> ・登山道のロープ等の整備 ・荷上げ業者との調整 ・スカイラインのゴミ対策 ★荷上げ業者 <ul style="list-style-type: none"> ・ブルドーザー道使用マナーの徹底 ・山小屋業者との連携を依頼
動植物 について	<ul style="list-style-type: none"> ・フジアザミ等植物の盗掘が見られる。 ・キノコ狩りにより、植生が痛められ、ゴミも増加している。 ・写真撮影時に道を外れてしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物やマナーについてのマナー啓発看板の設置 ・富士山の動植物について周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★富士山自然休養林保護管理協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局にハイキングコース（遊歩道）の点検を依頼 ★各登山口等への英語も併記された富士山マナー啓発看板の設置 （ふじさんネットワーク事業）
ゴミ について	<ul style="list-style-type: none"> ・登山道沿いはゴミが少ないが、五合目及びスカイラインに存在する駐車場にゴミが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下山中に収集したゴミを処理するシステムが必要。 ・登山口だけではなく、そこに行くまでの間にもPRが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ★各登山口関係者により、収集されたゴミの処理システムの検討 ★環境省・森林管理署へ富士山エコレンジャーの意見、要望を伝達
外国人への 対応	<ul style="list-style-type: none"> ・外国からの来訪者も増えており、マナー啓発が必要と思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人に対応した看板・パンフレットの作成。 	

※富士山エコレンジャー活動報告書及び意見交換会で出された意見から代表的なものを取りまとめました。御協力ありがとうございました。

富士山に生きる植物図鑑③

※点線で切り取ると、写真と解説を表裏に見ることができます。

フジアザミ(キク科)

8月～10月に6～8cmの紅紫色の花をつける。頭花は日本で自生するアザミの中では最大で、ふちに棘があり下向きに咲く。高さは80cm程度で、富士山の砂礫地ではよく目立つ。

イワツメクサ(ナデシコ科)

7月～8月に直径約2cm幅約2cmの白色の花をつけ、先端は鋭くとがる。多年草で高さ10～20cm程度で1～8個の花をつける。漢字で岩爪草と書き、岩の間に生えるツメクサの意味を持つ。

ミヤマオトコヨモギ(キク科)

7月～8月に薄い黄色の小さな花をつける。高さは約30cm程度で、太くて丈夫な根を持ち、有花茎と無花茎とが分かれ出る。平地に咲くオトコヨモギよりも背は低く、花は大きい。

ツチアケビ(ラン科)

6月～7月に約2cmの薄い茶色の花をつける。バナナ状の実をつけるが、形がアケビに似ていて、土中から直接生えているため付けられました。葉緑素を持たず、果実は乾燥させて漢方薬にも用いられる。

テンニンソウ(シソ科)

9月～10月に薄い黄色の花をつけ、高さは約1m程度になる多年草。葉は対生し、長さは10cm程度となる。富士山周辺で多く群生している様子を見ることができる。

ミヤマアキノキリンソウ(キク科)

7月～9月に黄色く直径1cm程度の花をつける多年草。高さは約30cmで頭花は散房状に多数集まってつく。日本以外にも東北アジアまで分布し、別名はコガネギク。

参考：山溪カラー名鑑『日本の野草』山と溪谷社 発行
山溪フィールドボックス⑦『高山植物』山と溪谷社 発行

富士山3776自然林復元下刈大作戦 参加者募集! (静岡県より)

富士山周辺の国有林では、台風で多くの樹木が倒れた後、多くの方々の御協力により植樹活動が実施されました。

植樹された苗木を元気に成長させるためには、苗木の周りに生えた草を刈り、日光や栄養を与える必要があります。

静岡県では、この下刈大作戦へ御協力いただける企業や団体を募集しています。

実際の作業は7月以降になりますが、興味をお持ちの企業・団体の方は、ぜひ御連絡下さい。なお、個人参加の募集は改めてお知らせ致します。



1年間の活動総括 事務局長 石間 誠 (静岡県自然保護室長)

～継続は力なり～

酷暑、台風、豪雨、中越地震、豪雪等があり、平成16年度の日本列島は「災」という字で塗り固められましたが、富士山は天候にも恵まれたため多くの方が訪れました。

富士山が未永く多くの人に利用されていくには富士山エコレンジャー活動や自然植生復元活動等にみられるような地道な環境保全活動が必要であります。このため、ふじさんネットワークではこのような活動の情報発信等を行い会員相互の連携を高めているところです。

環境保全活動は地味なものであり時には多くの困難を伴うものですが、道に迷ったら原点に戻ることを基本姿勢として会員相互の連携により活動の継続をしていきましょう。

富士山周辺で見ることができる植物です。

※写真の裏面に解説があります。

厳しい自然の中で生きている植物ですので、あたたかく見守りましょう。



事務局通信

○富士川楽座はふじさんネットワークを応援しています

富士川楽座2階『体験館どんぶら』では、本年度「富士山」をテーマに、ゲーム・クラブ・実験などで遊びながら、身近な環境について学べる『エコガク』を開催しています。

当館では、その一環としてふじさんネットワークの推進している『富士山環境保全募金活動』を行っています。

(協力者には富士山ピンバッジ進呈)

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



ふじさんネットワーク情報誌の表紙を飾る富士山の写真や、富士山で生きる動植物の写真を募集しています。これらの写真を御提供頂ける方は、ぜひ事務局まで御連絡下さい。

●メールマガジンへの登録をお願いします。<http://www.fujisan-net.gr.jp/mailling/index.asp>

～編集後記～

今年度も、ふじさんネットワーク会員の方々をはじめ、多くの方が富士山を良くしていきたいと考え、さまざまな活動に御協力下さいました。「下刈り」、「みがきあげ作戦」、「富士山エコレンジャー」等の自然環境保全に関わる地道な活動を通じて、富士山が少しずつ美しい姿を取り戻しつつあります。決して楽なことではありませんが、富士山を良くしたいという想いを一つに来年度も継続できるよう、御協力をお願いします。近い将来、拾うゴミなど無いくらいきれいで、環境意識の高い登山者が多く訪れる山にしたいです。(よ)



2005年3月 vol.17

編集・発行／**ふじさんネットワーク事務局**

静岡県環境森林部自然保護室内

〒420-8601 静岡県静岡市追手町9番6号 TEL 054-221-3776 FAX 054-221-3278

e-mail 3776@fujisan-net.gr.jp URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

ふじさんネットワーク

- ・設立 平成11年10月23日
- ・会長 土隆一
(静岡大学名誉教授)
- ・会員数 372団体 (H16.12.10現在)